

授業科目名 <英訳>	中毒学 Toxicology	担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 准教授 原田 浩二 医学研究科 教授 小泉 昭夫								
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	金2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語

[授業の概要・目的]

I. コースの概要

前期の中毒学入門の講義で得られた知識を背景に、中毒学研究に必要なGLP (Good Laboratory Practice) を学習し、さらに化学物質の体内動態と実際の化学分析に焦点を当てた、より進んだ中毒学を講義します。

前期の中毒学入門講義を履修していることが必要です。

[到達目標]

II. 学習到達目標（このコース終了時まで習得が期待できること）

- ・ GLPを理解する
- ・ 体内動態と基本的なモデルを理解する
- ・ 化学物質の分析手法を説明できる
- ・ 主要な中毒の防止策を述べることができる

[授業計画と内容]

第1回 10月6日 Orientation

第2回 10月13日 GLP “ General Provisions ” and “ Organization and Personnel ”

第3回 10月20日 GLP “ Facilities ” and “ Equipment ”

第4回 10月27日 GLP “ Testing Facilities Operation ” and “ Test and Control Articles ”

第5回 11月10日 GLP “ Protocol for and Conduct of a Non-clinical Laboratory Study ”

第6回 11月17日 GLP “ Records and Reports ”

第7回 12月1日 GLP “ Disqualification of Testing Facilities ”

第8回 12月8日 GLP “ Timing of Pre-clinical Studies in Relation to Clinical Trials ”

第9回 12月15日 GLP “ Preclinical Safety Evaluation of Biotechnology-Derived Pharmaceuticals ”

第10回 12月22日 GLP “ Safety Pharmacology Studies for Human Pharmaceuticals ”

第11回 1月5日 Toxicokinetics 1

第12回 1月12日 Toxicokinetics 2

第13回 1月19日 Research ethics

第14回 1月26日 Chemical analysis 1

第15回 2月2日 Chemical analysis 2

[履修要件]

MPH選択、環境衛生学分野必修

中毒学(2)

[成績評価の方法・観点及び達成度]

- Attendance and active participation 50%
- Presentation 50%

[教科書]

Handouts

1. Code of Federal Regulations ICH Guideline

2. Lu ' s BASIC TOXICOLOGY 4th edition Frank C. Lu and Sam Kacew, Taylor and Francis, 2002

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

III. 教育・学習方法

- 講義
- 小グループ学習

(その他 (オフィスアワー等))

その他メッセージ

Credits of “ Introduction to Toxicology ” and “ Occupational health and environmental health sciences ” are required.

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 上限 3 人まで可能

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。